施策 6 学びを支える教育環境の整備・充実

重点施策

指標1	【項目】 大規模改造工事進捗率			【説明】 市立小・中学校の大規模改造工事の進捗率				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	
	%	68.6	69.0	69.9	74.9	76.2		100
担当課評価								
【担当課】 教育財務課	<ul style="list-style-type: none"> 進捗はおおむね順調です。 コロナ禍等の影響により、工事の一部を取りやめていた期間があるため、当初の目標達成時期に遅れが生じています。また、令和2年に川越市個別施設計画（公共施設編）が定められたことにより、更新の検討対象となった学校があることから、計画見直しの検討が必要です。 							
指標2	【項目】 トイレ改修工事進捗率			【説明】 市立小・中学校のトイレ改修工事の進捗率				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	
	%	32.5	35.0	38.0	39.3	39.3		50.0
担当課評価								
【担当課】 教育財務課	<ul style="list-style-type: none"> 進捗はおおむね順調です。 令和4年度で全ての学校における1系統目のトイレ改修工事が完了しました。 令和5年度は2系統目以降のトイレ改修の方針を定め、小学校1校、中学校1校の設計業務を行いました。 							
指標3	【項目】 小学校における学校図書館図書標準達成率			【説明】 各市立小学校における学校図書館図書標準の平均の達成率				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	
	%	92.5	93.8	93.4	93.7	94.6		100
担当課評価								
【担当課】 教育指導課	<ul style="list-style-type: none"> 進捗は順調です。 令和4年度の実績値より学校図書館図書標準達成率が上昇しています。今後は、廃棄数の上限をなしとしたことで、各学校における蔵書の充実を図り、より魅力的な図書館づくりを進めます。 川越市小・中学生読書推進事業に、市立図書館から学校への図書貸出を位置付け、学校図書館の図書の補完に努めます。 							
指標4	【項目】 給食がおいしいと感じている児童生徒の割合			【説明】 市立小学校6年生及び市立中学校3年生のうち、給食がおいしいと感じている児童生徒の割合				
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	
	%	—	—	84.2	85.5	86.7		100
担当課評価								
【担当課】 学校給食課	<ul style="list-style-type: none"> 進捗は順調です。 令和5年度3学期に小学校6年生・中学校3年生の約1,200名を対象としたアンケートを実施した結果、回答者の8割以上が「おいしかった」と回答しています。（回答者865名のうち、750名が「とてもおいしかった」「おいしかった」と回答） 							

施策 6 学びを支える教育環境の整備・充実								
指標5	【項目】 放課後児童支援員の資格を有する職員の割合				【説明】 市立学童保育室で、放課後児童支援員の資格を有している職員の割合			
	単位	現在値 (R1)	実績値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	%	68.7	78.2	80.3	87.4	88.8		90.0
担当課評価								
【担当課】 教育財務課 <ul style="list-style-type: none"> ・進捗は順調です。 ・放課後児童支援員の基礎資格を有している者が速やかに認定資格研修の受講ができるよう、計画的に受講枠を確保し、有資格者数の割合を増やすことができました。 ・今後も、引き続き放課後児童支援員の資格取得率の向上に取り組めます。 								

施策 6 学びを支える教育環境の整備・充実		総合評価
		A
総合評価について	<p>全体として進捗は順調であり、評価も良好です。 施設や設備については、「川越市小中学校施設整備計画」に沿って計画的に改修及び修繕を進めています。 しかし、依然として老朽化への対応や社会状況の変化への対応を課題として捉えている施策が多くあるため、計画の見直しを検討しながら今後も取組を進めます。 併せて、児童生徒の安全や安心の確保に係る取組についても引き続き進めることで、学びを支える教育環境の整備・充実を図ります。</p>	

学識経験者等意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事やトイレの改修工事については、現在は順調に進捗しているが、昨今の資材単価の高騰や適正配置の問題とも関連して議論する必要がある。また、教職員の養成についても、ベテラン教職員と若手教職員の間の中堅教職員がいなくなると、優れた教職員を育てるのが難しくなってしまう。このようにハードウェア、ソフトウェアのいずれの視点でも、今後5年間、10年間でどこまで何をするのかという立体的な視野を持つ必要があると考えている。 ・学校図書館の充実については、新しい図書への入れ替えをより迅速に行うことで、学校における蔵書の充実を図り、より魅力的な図書館づくりをしていただきたい。 ・給食内容の充実については、給食センターの職員が、直接、子どもたちに伝えることで、社会科も含んだ学びの機会を提供できると考えるため、例えば、家庭科の実習との連携なども進めていただきたい。 ・学童保育室の利用児童数について、全児童に占める割合が20%というのは、とても高い比率であり、これにより重大事故や重大事件の起こる可能性もとても高くなってしまおうと考えるため、今後もスペースや人的な確保を十分にしていきたい。
----------	--

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (1)学校施設の整備・充実

細 施 策	①小・中学校施設大規模改造工事の推進	担当課	関連指標
		教育財務課	指標1
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 「川越市小中学校施設整備計画」に沿って計画的に外壁改修や屋上防水の大規模改造工事を推進します。 「川越市小中学校施設整備計画」に沿って計画的に便器の洋式化や配管改修などのトイレ改修を推進します。 <p style="text-align: right;">その他の関連指標: 指標2</p>		
令和5年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事 【設計】小学校1校、中学校1校 【工事】小学校1校、中学校1校 トイレ改修 【設計】小学校1校、中学校1校 【工事】実績なし <p>※令和5年度より、2系統目以降のトイレ改修工事の設計を行っています。</p>		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事については、進捗が当初の見込みより遅れています。トイレ改修については、令和5年度より2系統目以降の工事設計業務を進めています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事が当初の計画より遅れている事が課題であるほか、更新の検討対象となった学校もあることから、計画の見直しについても課題となっています。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改造工事の進め方については、学校更新の検討と並行して検討を進め、計画の見直しを進めていきます。 		

細 施 策	②小・中学校重要設備の更新	担当課	関連指標	
		教育財務課	—	
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 「川越市小中学校施設整備計画」に沿って計画的に耐用年数を経過した受変電設備等の重要設備を更新します。 			
令和5年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 受変電設備改修工事 【設計】実績なし 【工事】小学校1校、中学校1校 受水槽設備改修工事 【設計】実績なし 【工事】実績なし エレベーター改修工事 【設計】実績なし 【工事】中学校1校（令和5～6年の債務負担行為で実施） 			
成果実績	項目名（単位）	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	受変電設備（校） 受水槽設備（校）	受変電 2 校 受水槽 2 校	受変電 3 校 受水槽 1 校	受変電 2 校 受水槽 1 校
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要設備（受変電、受水槽、エレベーターなど）は使用年数に応じた老朽化が進行しています。 世界情勢の影響により、物流が不安定となっており、資材調達の遅延などが懸念されます。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定的な資材調達が課題となっており、特に電気関連（受変電、エレベーター関係）の資材については年度内の資材調達が課題となっています。 			
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 資材調達の情報に注視するとともに、電気関連の資材が安定供給されるまでは、受水槽改修工事を先行することや、受変電設備工事については、十分な工期確保に努め、エレベーター改修工事では工期を2カ年に設定するなどの対応を行います。 			

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (1)学校施設の整備・充実

細 施 策	③小・中学校空調設備設置の推進			担当課	関連指標
				教育財務課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 特別教室への空調設備の導入を推進します。また、屋内運動場への空調設備については、防災上の観点を含め様々な導入手法について検討します。 				
令和5年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 特別教室空調設備設置推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 【設計】中学校4校 【工事】中学校4校 体育館空調設備等整備事業（第1期）R5.6～R6.10 継続事業 <ul style="list-style-type: none"> 【設計】小学校7校、中学校11校 【工事】小学校7校、中学校11校 体育館空調設備等整備事業（第2期）R6.3～R7.6 継続事業 <ul style="list-style-type: none"> 【設計】小学校7校、中学校11校 【工事】実績なし 				
成果実績	項目名（単位）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	特別教室空調設備設置校数（校）	—	2	4	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱中症対策として、早期に全学校特別教室の空調設備設置が望まれます。 令和5年度から令和7年度の3カ年で、屋内運動場への空調設備を設置します。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校特別教室への空調設備設置が課題となっており、他の事業との調整等により、計画的な整備を進める必要があります。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助や有利な地方債を活用することで財源の確保に努めるとともに、学校運営に支障をきたさない工期の設定等により、計画的な整備に努めます。 				

細 施 策	④学校図書館の充実			担当課	関連指標
				中央図書館・教育指導課	指標3
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の読書活動を推進するため、蔵書数を含めた魅力ある学校図書館の充実を図ります。 児童生徒の調べ学習及び読書活動推進等に向け、市立図書館から学校への図書貸出を推進します。 				
令和5年度の主な実績	<p>【中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立図書館から学校へ貸出した団体貸出図書数 <ul style="list-style-type: none"> 小学校4,644冊、中学校635冊、高校229冊 小学校3年生に対し、学級訪問及び学級招待を実施（32校、92学級、2,829名参加） 小学校1年生に対し、学級訪問を実施（10校、30学級、875名参加） <p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館図書標準 小学校 94.6%（前年度比0.9ポイント増） 学校図書館図書標準 中学校 105.6%（前年度と同数） 学校司書研修会の実施（年3回） 				
現状・課題	<p>現状</p> <p>【中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校への団体貸出を行い、読書活動を推進しています。 学級訪問及び学級招待を実施し、読書活動を推進しています。 <p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校司書研修会を行うことで学校図書館の充実を図っています。 中学校においては、学校図書の計画的購入・廃棄により学校図書館図書標準を上回っています。 <p>課題</p> <p>【中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「第四次川越市子ども読書活動推進計画」に基づき、こどもが本に親しむための機会を幅広く提供する必要があります。 団体貸出図書数は前年度と比較して増加しましたが、教育課程に沿った資料選定や定期的な働きかけなど、学校図書館を補う役割を担う必要があります。 <p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校においては、学校図書館図書標準を下回っています。 市立図書館から学校への図書貸出を推進することが必要です。 				
課題解決のための取組	<p>【中央図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「第四次川越市子ども読書活動推進計画」に基づくこどもの読書活動を推進するため、学習指導要領に基づく教育課程に対応する図書等の購入に努めるとともに、利用が少ない中学校に向けた団体貸出の周知に努めます。 <p>【教育指導課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立図書館と市立学校との連携を推進し、図書館の図書の補完に努めます。 				

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (2)小・中学校の適正規模・適正配置

細 施 策	①小・中学校の適正規模・適正配置等の検討			担当課	関連指標
				学校管理課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが社会で自立できる力を身に付けることを目標に、切磋琢磨して成長できる川越市立小・中学校の在り方を検討し、新たな教育環境を整えます。 川越市立小・中学校の適正規模・適正配置について、保護者や地域住民等の意向を把握した上で、児童生徒数の推移、及び、小学校での35人以下学級編制に基づく各学校における学級数を踏まえて基本となる方針を策定します。 策定した基本方針を基に、学校の分離・新設や統廃合等の可能性について、地域社会の意見等を踏まえて協議します。 				
令和5年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 将来人口推計に基づいた、必要な学校数の検討 検討委員会 4回（5月、8月、11月、2月）実施 学校の規模、通学区域、学校の統合等、課題や問題点等を調査研究するための検討部会を4回開催 川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会条例の制定 				
成果実績	項目名（単位）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	検討委員会の実施回数（回）	4	4	4	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校では35人の少人数学級編制を令和7年度まで順次進めることになっています。また、特別支援学級の新増設や少人数指導教室としての利用等により余剰教室の効果的活用が進む一方で、空き教室となっている学校もあります。学年の単学級化の進展が見込まれる学校もあります。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の統合の議論は、地域の実情や人口動態、施設維持のコスト、教育的効果、防災、市全体の施設計画など、複合的な課題があります。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 10～30年後を見据えて、本庁及び各市民センター管内の地区ごとに調査・研究を進め、関係課との検討に取り組みます。 令和6年度より、川越市立小中学校適正規模・適正配置審議会を設置し、「川越市立小中学校の在り方検討委員会」で検討してきた内容を諮問事項とし、審議会において調査審議いただき、客観的な評価として得た答申を踏まえ、教育委員会としての基本となる方針を策定します。 				

【施策の柱】 (3)学校給食の充実

細 施 策	①給食内容の充実			担当課	関連指標
				学校給食課	指標4
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心でおいしい給食を提供するとともに、栄養のバランスが取れた給食を提供します。 学校給食で使用する食材の安全確保に努めます。 地場産物の積極的な使用に努めます。 食物アレルギー対応食について、安全で確実な実施体制を保持し、内容の拡充を図ります。 				
令和5年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食の提供 小学校189回 中学校190回 学校給食食材（青果）に占める地場農産物の割合 25.2%（重量比） アレルギー対応食の提供 児童84名、生徒12名（R5.5.1時点） 				
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ等により、急な学級閉鎖がありましたが、適切に対応を図りました。 学校給食食材の高騰対策については、補正予算等の対応により、保護者負担を軽減しました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 物価高騰等に伴い、学校給食食材の高騰が懸念されている中で、給食献立の工夫などを行うとともに、栄養価を踏まえた質と量が確保されたおいしい給食の提供が必要です。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 地場産物を活用した新メニューを引き続き提供するなど、伝統的な食文化についての理解や地場産物への興味を深めるとともに、食材価格の動向に注視し、献立作成に取り組めます。 				

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (3)学校給食の充実

細 施 策	②学校給食施設の整備			担当課	関連指標
				学校給食課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修と設備の修繕等を計画的に推進していきます。 今成学校給食センターは、運営の手法も含め、計画的な建替え等を検討していきます。 				
令和5年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設や設備の修繕等の件数 86件（菅間67件、今成19件） 令和5年度から川越市立菅間学校給食センターボイラ更新工事を実施 				
成果実績	項目名（単位）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	施設や設備の修繕等の件数（件）	106	141	86	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 経年による突発的な修繕等が増加傾向にあるため、継続的な保守点検を行うとともに、計画的な施設設備の整備を実施しています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続的に学校給食を提供するため、施設や設備の状況を的確に把握する必要があります。 施設や設備の老朽化や今後の児童生徒数の推移、市の財政状況等を踏まえ、3つの学校給食センターの機能を総合的に勘案し、今後の方向性を検討する必要があります。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、安全で安心なおいしい学校給食の提供に努めます。 関係課会議で3つの学校給食センターの今後の方向性について検討するとともに、現状把握と今後の改修費用の精査を行います。 				

【施策の柱】 (4)子どもたちの安全・安心の確保

細 施 策	①安全教育の推進			担当課	関連指標
				教育指導課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒、地域の実態に応じた安全教育を保護者・関係機関と連携し推進します。 児童生徒の安全確保のため通学路安全点検の実施、スクールガード・リーダーの配置等、地域及び関係機関等と連携・協働し、安全・安心の取組を推進します。 各学校で児童生徒を対象に、不審者に遭遇した場合の対応等、実践的な防犯教室を実施し、防犯意識の育成を図ります。 児童生徒を対象とした交通安全教室を関係機関と連携し推進します。 				
令和5年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> スクールガード・リーダー年間活動平均回数 220回 児童生徒の登下校の見守りのために青色回転パトロールカーによる巡回 55回 各学校からの通学路改善要望をとりまとめ、防犯・交通安全課に対応を依頼 37件 交通安全教育や防犯教育の実施 54校（市立小中学校全校） こどもの見守り講習会実施参加者数 82名参加 				
成果実績	項目名（単位）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	スクールガード・リーダーの平均年間活動回数（回）	256	219	220	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育や防犯教育を実施し、安全教育の推進が図れています。 関係機関と連携を図り、通学路の整備が進められています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校の実態に応じて作成されている危機管理マニュアルの見直しが必要です。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の交通事故が発生しないように、交通安全指導を継続的に行います。 各学校で、実践的な交通安全教室、防犯教室を実施していきます。 				

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (4)子どもたちの安全・安心の確保

細 施 策	②防災教育の推進			担当課	関連指標
				教育指導課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 地震や火災等を想定した避難訓練を各学校の年間指導計画に位置付け、児童生徒の防災意識を高め、発達段階に応じて自ら危険を回避する能力の育成を図ります。 各学校において、防災マニュアルを検証し改善するとともに、それらを的確に活用できるよう教職員の安全意識及び災害対応能力の向上を図り、日頃から児童生徒の命を守る防災体制の強化を図ります。 各学校の地域実態等を踏まえた、避難所運営・設営に係るマニュアルを作成し、地域と連携した災害対応体制の構築を推進します。 				
令和5年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の防災意識を高めるための避難訓練の実施 56校（市立学校全校） 地震や火災、水害等を想定した避難訓練の実施による防災マニュアルの改善 56校（市立学校全校） 				
成果実績	項目名（単位）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	防災マニュアルの改善実施校数（校）	56	56	56	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域全体での安全教育を実践している学区において、地域全体での安全体制の構築が図れています。 避難訓練等の実施が、児童生徒の防災意識を高めることにつながっています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域全体での安全教育に関わる実践事例を、全市立学校にさらに周知する必要があります。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、研修会等で、地域全体での安全教育に関わる実践事例を周知し、児童生徒の防災意識のさらなる向上を図ります。 				

細 施 策	③学童保育の充実			担当課	関連指標
				教育財務課	指標5
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 就労等により保護者が常時留守になっている児童の放課後等の安全・安心を確保し、健全な育成を図ります。 放課後児童支援員及び補助員の確保及び質の向上を図ります。 学童保育室の整備、改修等を行い、保育環境の改善を図ります。 民間放課後児童クラブを所管する関係課と連携し、多様化する保育ニーズに対応するための保育手法や負担の在り方について検討します。 				
令和5年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初の学童保育室利用児童数 3,505名（全児童に占める割合：約20%、待機児童：0名） 狭あい化対応 拡張 1室、増室 1室 空調設備設置・改修工事 7箇所 トイレ改修工事 2箇所 正規職員採用数 5名 放課後児童支援員認定資格研修の受講者数 19名 				
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 待機児童を出さずに対応できているという面では、おおむね順調に進捗していますが、入室児童数が年々増加しています。 約3分の2の施設が建築から20年以上経過しています。また、35人学級の実施や特別支援学級の増加に伴い転用可能な教室が減少しています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育スペース及び放課後児童支援員等の確保について課題があります。 老朽化が著しい施設の改修等を行い保育環境を維持・改善する必要があります。 放課後児童支援員等の質及び意識の更なる向上が必要です。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 狭あい化、老朽化した学童保育室について川越市総合計画実施計画に位置付け、余裕教室の転用、設備の改修等を行っています。 引き続き幅広い方法で放課後児童支援員等の募集を実施し、その確保に努めるとともに、研修受講機会の確保や、業務のマニュアル化等により、職員の質及び意識の更なる向上に努めます。 民間放課後児童クラブの所管課（こども育成課）と情報交換を密に行い、連携を図ります。 				

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (5)教育センターの充実

細 施 策	①教育センター施設の整備・開放の充実			担当課	関連指標
				教育センター	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センター、教育センター第一分室、教育センター第二分室の老朽化した部分等の緊急性や必要性を検討し、施設の改修と設備の修繕等を計画的に実施します。 ・教育センターは、教職員研修の施設として対面型・オンライン型の研修内容が充実するように、また地域に開かれた施設として利用しやすいように整備運営に努めます。 				
令和5年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・対面・集合型研修 156回 オンライン研修（同時双方向型・オンデマンド型） 79回 ・地域の方への施設開放利用者数 1階 13,092名 体育館及びグラウンド 15,071名 施設利用団体数 81団体 ・教育センター第二分室の相談室2室のエアコン交換修繕を実施 ・学習者用コンピュータ接続のための無線LAN増設工事を実施 ・教育センター体育館の水回りの修繕を実施 				
成果実績	項目名（単位）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	地域の方への施設開放利用者数（名）	26,545	30,176	28,163	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設開放利用団体の新規登録が年々増えています。 ・教育センターの全研修室で、無線LANを利用した研修ができるようになりました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設開放利用の予約が電話や来所による予約のみになっているので、手続きに時間がかかってしまう状況にあります。 ・駐車場不足により、特に雨天時に参加者の多い教職員研修と施設開放利用が重なると、駐車場が大混雑する状況が起きています。 ・教育センター施設の老朽化等により、天井の雨漏り、体育館の照明切れ（水銀灯）、空調室外機の故障、トイレの不具合等、至る所で修繕が必要です。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・施設開放利用の予約について、インターネット上からでも予約できるようにします。 ・雨天時は乗り合わせや公共交通機関を利用して来所するよう、引き続き周知していきます。 ・施設利用者が快適に利用できるよう、計画的に修繕を進めます。 				

【施策】 6 学びを支える教育環境の整備・充実

【施策の柱】 (5)教育センターの充実

細 施 策	②教職員・保護者・地域との連携研修の充実			担当課	関連指標
				教育センター	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒への対応や情報モラルの育成などの今日的な教育課題解決のために、学校や家庭・地域と連携した研修の充実を図ります。 				
令和5年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 「保護者と共に考える情報モラル研修会」回数 1回、参加人数 市立学校教職員53名、保護者62名 保護者・教員向け「不登校対策支援セミナー」回数1回、参加人数 市立小・中学校教職員9名、保護者10名。 				
成果実績	項目名（単位）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	保護者と共に考える情報モラル研修会参加者数（名）	114	114	115	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報モラル研修会においては、教職員と保護者が情報モラルに関する今日的な教育課題について対面で話し合い、問題意識や課題を共有し、解決方法を考えることができました。 情報モラル教育に対する関心が高まり、各学校においても児童生徒や保護者向けに講師を呼んで研修を行っています。 教職員と保護者を対象に不登校児童生徒への支援の方法を学ぶ研修会「不登校対策支援セミナー」をオンラインで開催し、学校との連携の仕方や、児童生徒の心理面を考慮した関わり方等について研修することができました。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSやインターネット環境の普及によるいじめや犯罪などのネット上のトラブルから児童生徒を守るために、教職員と保護者が連携し、課題解決に向けてさらに家庭との連携を図っていく必要があります。 情報モラルについての研修会を行っている学校が増え、本研修会の内容と重複するところがあります。 不登校対策支援セミナーでは教職員や保護者の参加人数が少なかったため、研修内容や周知方法等を検討する必要があります。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラル教育研修会をオンライン研修（同時双方向型）に変更し、参加する教職員と保護者は各校でオンライン講義を受講後、対面にて協議を行う形式にすることで、問題意識や課題を共有し、連携を図れるようにしていきます。 情報モラル教育やネットトラブル・ネットいじめの未然防止教育を推進し、児童生徒が安心してインターネットを利用できる環境づくりに努めます。 研修内容が重複しないようにするために、各校の情報モラル教育に関する研修の実施状況を把握していきます。 不登校対策支援セミナーでは、教職員や保護者がそれぞれの立場から不登校児童生徒への支援について考えたり、より有益な情報が提供されたりするような研修内容にし、魅力ある研修会にしていきます。 				